

ナ イン全員が躍動 手ごたえをつかんだ大会 第47回社会人野球日本選手権大会



▲同点適時打を放つ山田選手（上）、緊迫する場面で好投好守を見せた小野投手と石塚捕手（左下・中下）

10月30日、京セラドーム大阪で第47回社会人野球日本選手権大会が開幕し、にかほ市に本拠地を置くTDKが出場しました。10月31日に行われた初戦の相手は、昨年の同大会と今年の都市対抗野球大会で対戦し零封を喫した絶対的にリベンジを果たしたい相手トヨタ自動車。4回に動いた試合は1対1のまま延長戦タイブレークに突入し、再三チャンスを作りトヨタ自動車を最後まで苦しめましたが、あと1本が出ず延長12回の激闘の末4対2で涙を飲みました。



発表部門は3年ぶりの有観客開催 にかほ市民文化祭2022

10月下旬、にかほ市民文化祭2022が市内各所を会場に開催されました。「発表部門」は3年ぶりの有観客での開催となり、多数の出演者と観客で会場は大いに盛り上がりしました。また市内各公民館等での「展示部門」のほか、「わくばにかほ」の見学会、eスポーツが体験できる「仁賀保高校eスポーツ部見学会」など参加型交流イベントも催され、各会場は多くの市民で賑わい、各々が芸術の秋を楽しむ様子が見られました。



▲eスポーツ部見学会の様子(左下)、発表部門の熱演(上、中下)、展示部門の様子(右下)



新しい授業の
style

ギガスクール

古典の学習「平家物語」(象潟中2年)

平家物語の朗読にむけ、タブレットを活用して台本をつくる活動を行ったほか、後日行った朗読発表では、電子黒板に作成した台本を映しながら発表しました。



文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、各小・中学校に配置された1人1台のタブレット。本格実施2年目の「今」をレポートします。

皆で協力したくさんのブナを植樹 にかほ市植樹会

10月29日、仁賀保高原南展望台付近で市緑化推進委員会主催のにかほ市植樹会が3年ぶりに行われました。34人が参加した植樹会は、親子で協力しながらブナの苗を植える姿が多数見られました。そのほか、丸太をノコギリで切って鍋敷きやコースターなどを作るイベントも開かれ、参加者は木に親しみ、緑化への意識を深めていました。



▲協力し合い植樹する参加者たち

豊かな水が生まれる活動 第28回植樹会

10月22日、鳥海山2合目付近にあたる本郷地内の旧栗園を会場に第28回植樹会が行われました。これは、鳥海山にブナを植える会が主催し毎年行っているもので、今回は300本の苗を植樹。鳥海山の豊かな自然を守ろうと集まった50人の参加者は、緑豊かな森林を未来に引き継ぐ想いを込めながら一本一本丁寧に植えていました。



▲多くのボランティアにより作業を行いました

身近なジオパークへの理解を深める 鳥海山・飛鳥ジオパーク出前授業

10月20日、秋田大学特別教授林信太郎氏を講師に招き「鳥海山・飛鳥ジオパーク出前授業」が象潟小学校で行われました。「鳥海山の成り立ちについて」をテーマにした講話のほか、校庭に出て鳥海山の山体崩壊によって流れて来た石を探すなどのフィールドワークや実験が行われ、児童たちは身近にあるジオパークの奥深さを体感していました。



▲鳥海山から流れて来た石を探す児童と林教授(右)